

第4次館山市総合計画『後期基本計画』（原案）に対するパブリックコメントへの回答

No.	基本目標	基本施策	施策	原案ページ	意見	担当課 (回答課)	関連計画事業名	事業内容	回答	回答詳細 (反映後の事業内容、実施中の取組、反映しない理由)
1		全般			<p>●課題を様々な方法で解決するために前提となる財政状況の説明も少し入れても良いのでは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別で台所事情の記載はありますが、計画とセットだと分かりやすいと思いました。予算やリソースが限られているため、全てにおいて優先順位付けが必要と思います。実施計画ベースの内容だと思いますので、基本計画にどこまで入れるかが迷いますが、全体の中で何に注力したいのか、そのために何ほどの程度我慢する、もしくは税金以外のスキームで実現するのかを明確にするためにも、「理想とする方向性」に対して、「現状の予算」があり、そのギャップとそれを埋める方法案がセットに提示されるととても分かりやすいのではと思いました。 	企画課 行革財政課			一部反映する	<p>●財政状況の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・序論の部分で、今後の人口の見通しとともに、財政の現状及び『後期基本計画』の計画期間5年間の見通しについて、人口減少による影響や大規模事業の予定等も踏まえつつ、触れることとします。 ●事業の優先順位について ・限られた予算の中で、効率的かつ効果的な計画とするため、『後期基本計画』期間の5年間の中で、分野横断的かつ重点的に取り組む事業を重点プランとしてまとめました。 ・また、税金以外の財源確保については、基本目標7の第5節に位置付けた「企業版ふるさと納税制度の推進」事業等の活用により、地域課題の解決や未来への投資につながる取組を推進していきます。
2		全般			<p>●前期に掲げた事業の「重要度・満足度」結果とのつながりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果には書かれておりますが、今まで掲げた事業の「満足度が上がった」「重要度が上がった」、だから、次回の5年ではこの事業に注力するなどのつながりがあると良いと思いました。結局何に注力して何ができて、何ができていないのかが前期と後期でわかりやすく見えればと思います。 	企画課			反映済	<p>●『前期基本計画』事業の「重要度・満足度」結果と『後期基本計画』事業へのつながりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年2月に「市民まちづくりアンケート」を実施し、各施策に対する重要度及び満足度を調査しました。その結果を踏まえ、重要度が高く満足度が低い事業を優先的に「重点事業」に位置付けました。アンケート結果については、市ホームページで公表しているほか、『後期基本計画』の資料編にも掲載します。 ・また、『前期基本計画』の各計画事業に対しては、第1次～第3次までの政策評価を行い、総合計画審議会において審議した結果を踏まえ、『後期基本計画』の事業選定を行いました。政策評価において達成度が低かった計画事業については、統合・廃止を含め、事業内容の見直しを行い、成果指標に定めた目標値の達成を目指していきます。 ・なお、政策評価の結果についても、市ホームページに公表しています。
3		全般			<p>●館山市のポジショニングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前述の前期との繋がりを明確にする一方で、人口減少を前提とした社会において、日本の中で、関東の中で、千葉県の中で、安房の中で周辺の自治体との役割分担も含め館山としてのポジショニング（勝ち筋）をある程度強みとともに明確にできれば、市民の想像も膨らむのではと思いました。 	企画課			反映済	<p>●館山市のポジショニングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度を初年度とする『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』において、一定の人口減少は避けては通れないとの将来展望を示しております。その中で、目指すべき将来の方向である、子どもを産み育てる世代の減少対策として、まずは「魅力的な働く場」の確保が何よりも重要です。ICTの発展とともに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、場所を選ばない働き方に注目が集まる中、都心に近く多様な地域資源を有する館山市がテレワークやワーケーションに適した地域であることを前面に打ち出し、関係人口の創出・拡大や二拠点居住、移住・定住につながる事業を積極的に実施します。 ・また、安房地域における行政機能や都市機能、商業などの中心地として、生活機能の強化を図り、同様の地域課題を抱える周辺自治体と連携しながら、広域的な行政を推進していきます。

No.	基本目標	基本施策	施策	原案ページ	意見	担当課 (回答課)	関連計画事業名	事業内容	回答	回答詳細 (反映後の事業内容、実施中の取組、反映しない理由)
4		全般			<p>●全体としてのわかりやすい街のコミットする方向性の提示とKPIの根拠について</p> <p>・総合計画では細かく謳っている内容ですので、せっかくならば、「千葉県一災害に強い持続可能なまちづくり宣言」「千葉県一人口あたりIT企業開業数が多いまち」「日本一のキャッシュレス先進都市」「健康長寿日本一のまち(高齢者の歩行数日本一)」「千葉県一のSDGs推進都市」など喫緊の直面した課題を総花的にマッピングするのではなく、いくつか重点テーマ自体を絞り分かりやすい定量的な表現で方向性を提示し、それに紐づけし短期・中期の事業にてPDCAを回すイメージがあっても良いのではと思いました。例えば、海岸の環境整備においても市として宣言した以上は断固として違反者を取締る姿勢を貫ける大義名分にもなるかなと思います。また、細かい部分で恐縮ですが、重要指標に対するKPIの目標値の根拠は知りたいと思いました。</p>	企画課			反映済	<p>●市のコミットする方向性について</p> <p>・『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』とともに『後期基本計画』においても、令和元年房総半島台風の被害や新型コロナウイルス感染症の拡大など、危機に直面した際に重要となる理念である「個性と多様性を尊重し、誰一人取り残さない安全・安心で持続可能なまちづくり」を目指していきます。序論の部分で、市の目指す方向性を分かりやすく記載します。</p> <p>●KPIの根拠について</p> <p>・成果指標については、『前期基本計画』の指標をベースに、『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の数値目標・KPIを踏まえて設定しています。</p> <p>・また、客観的な成果として、なるべく評価しやすい指標とし、可能な限り、アウトプット(実施)ではなくアウトカム(効果・成果)を指標とすることにより、定量的で計測可能な数値目標としました。</p> <p>・目標値の根拠については、原則、令和元年度末の実績値を現状値とし、計画事業を実施することによる効果として、達成を目指す数値としました。</p>
5	5	環境共生	自然環境の保全と景観形成の促進	84	<p>●自然環境の保全「森林・里山保全整備事業」は重点対策にすべき</p> <p>・森林が活用されていないことが、獣害の増加や防災の遅延などの各種課題の大元になっているため、重点対策にすべきと考えています。森林整備を行うことが新規事業の創出になるようであれば、若者の雇用先にもなり、適度な管理を行うことが里山の保全事業にもつながるため、一石二鳥となります。</p>	農水産課	森林・里山保全整備事業	松くい虫のまん延を防止するため、保安林などの松林を重点的・計画的に防除し、森林機能の保全を図ります。また、里山の保全整備として、旧館山工業団地用地の利活用を検討します。	反映しない	<p>・ご意見として承ります。</p> <p>・館山市は人工林が少なく、各地に分散していることから施業の集約化が行いにくいという特徴があります。</p> <p>・現在、松くい虫やナラ枯れなどの病害虫被害面積も増加傾向にあり、自然災害から守る森林の機能維持のためにも被害の拡大防止が重要になっていくことから、まずは森林機能の保全を図ってまいりたいと考えています。</p>
6		全般			<p>・前段の部分で、経年の財政状況を示すべきと考えます。現状の計画はすべてやるのが理想ですが、資金が不足しているのは明白かと思うので、「何を優先的に行うのか」「ここは痛みを伴うべきところ」など、市民を説得するための材料を示すためにも財政状況の明示は必要です。そもそもその事業に対するの無関心さが目立つのは、「どうせ言っても無駄だろう」という思いが市民に蔓延しているからかと思います。</p>	企画課 行革財政課			一部反映する	<p>●財政状況について</p> <p>・No.1の回答詳細をご覧ください。</p>
7		全般			<p>・市長と議員の役割はもっと明確にして、明示化すべきと考えます。市長が市役所で昼休みに挨拶をしている姿を見ますが、その時間があるなら市政の課題を解決する時間に充てていただきたいです。議員は市民の要望を洗い出して市役所へ提出するのが主な仕事と思うので、その意味でも「市長への手紙」など直接声を届ける仕組みが必要とは思いません。もしくは、SNSが発達して市民ひとりひとりが発信しやすい今であれば、議員の動き方もより洗練させるべきだと思います。</p>	企画課 (秘書広報課)	広聴体制の充実	<p>・パブリックコメントや「市長への手紙」、「市長との懇談会」など、市民の声を市政に反映させる既存の仕組みを拡充させながら、世代や組織・団体などにとらわれない、幅広く多様な意見を取り入れることができる広聴手法を検討します。</p>	反映しない	<p>●市民参画・広聴について</p> <p>・「市長への手紙」は直接市政に対する意見や要望を伝えられる重要な広聴手法のひとつと考えており、今年度も12月末時点で216件の「市長への手紙」をいただいています。市議会議員を通じての要望の洗い出しも重要ですが、行政としては多様な市民参画の方法を用意しておく必要があると認識しております。</p> <p>・また、市長が昼休みに玄関ロビーにおいて直接市民の皆様の声をお聴きすることは、市民のニーズ把握に努め要望に応える、きめ細かい行政運営に向けた取組の一つとして行ってまいります。今回頂戴したご意見を踏まえ、引き続き、幅広く多様な意見を取り入れることができる広聴手法を検討してまいります。</p> <p>・議員の役割についてのご質問は、市の議会事務局にお問い合わせください。</p>

No.	基本目標	基本施策	施策	原案ページ	意見	担当課 (回答課)	関連計画事業名	事業内容	回答	回答詳細 (反映後の事業内容、実施中の取組、反映しない理由)
8		全般			・全体的な計画の中で、SDGs・IoT・MaaSなど、流行りに乗るのは良いと思うのですが、それがあつてどれくらい便利になるかのイメージ図もあると良いと感じました。計画を立てても、市民のほとんどの人はそれに対して説明することができないと思います。	企画課			一部反映する	<p>●新たな時代の潮流への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについては、理念を多くの市民に知ってもらい、身近なところから取り組んでもらうことが大切だと認識しております。現在、SDGsの推進にあたり、『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』や『後期基本計画』の各施策と17の目標（ゴール）との関連付けや、市広報での連載などを行うとともに、市図書館でも継続して特集しています。まずは、関心のある分野から知識を深めてもらうことにより、市民の皆様がSDGsをより身近に感じる機会を提供していきたいと考えています。 ・MaaSについては、『館山市地域公共交通網形成計画』（P77・別添参照）に記載しており、観光客の移動や滞在支援等を目的とした取組を、南房総市とともに検討を始めました。当該ページにも掲載されている国のイメージ図に基づき、具体的なイメージを作成したいと考えています。 ・IoTについては、『後期基本計画』のSociety5.0の説明の中で、内閣府のイメージ図を掲載したいと考えています。
9						企画課			実施中・検討中（計画への記載なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画は、各政策分野の具体的な施策や事業を明示し、総合的・体系的にまとめたものです。 ・各事業を環境政策として統合してはどうかのご意見ですが、当該事業に限らず、各種事業はそれぞれ関連している部分もありますので、連携をとりながら推進していきます。 ・事業を統合することは考えていませんが、尊重されるべきご意見として承ります。また、ご協力いただけるのご提案ですが、事業の実現に向けて具体的な検討が始まった場合には、ご意見を伺う機会を設けたいと考えています。
	4	基盤整備	交通体系の充実	82	・上記3項目に記述されている事業はそれぞれ個別の事業となっているが、一昨年の台風15号の被害、半島の先端という地域性、脱炭素という政府方針などを踏まえると一つの統合した政策の下に展開されるとより効果的だと思います。すなわち、日射量の豊富さを活かした再生可能エネルギーを活用したエネルギーの自立化、電気自動車の活用によるそのエネルギーの平時、災害時の効果的な利用などのマスタープランを立て、それをそれぞれの事業に展開していくべきだと思います。より具体的には、行政のみならず、民間、住民を巻き込んで、太陽光発電とその受け口である電気自動車を地域で普及させ、平時のイベント、災害時の電源確保などを実現していくことにより、脱炭素かつ災害時の電源確保を可能としたエネルギー自立先進地を目指したいと思います。	企画課	新たなシステムの導入等による利用しやすい公共交通の実現	利用者の利便性向上や運行業務の効率化、移動を楽しむために必要なグリーンスローモビリティや自動運転、MaaSの構築、キャッシュレス化等、新たな技術やシステムの導入等に取り組みます。	実施中・検討中（計画への記載なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・国が掲げた脱炭素（カーボンゼロ）の実現に向けて、また非常時において、電気自動車をはじめとする次世代自動車は多くの可能性を有していると考えています。また、環境への負荷が少ないグリーンスローモビリティについては、公共交通空白地域対策や観光二次交通を担う新たな移動手段として注目しており、今後導入に向けた検討を行ってまいりたいと考えています。
	5	環境共生	資源循環型社会の構築	89	・上記については、私も微力ながらご協力できると思いますので、ぜひ実現のほどよろしくお願いします。	環境課	地球温暖化対策事業	公共施設への太陽光発電システム等の導入や住宅用省エネルギーシステム設置に対する支援により、新エネルギーシステムの普及・促進を図ります。また、市が率先して地球温暖化対策に取り組むことにより、市民・事業者の自主的な活動を促進します。	実施中・検討中（計画への記載なし）	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーについては天候や気候に左右されやすいことや小規模の電力事業については需給管理が難しいなどの課題があります。まずは事例研究など各地の動きに注目し、再生可能エネルギーに関する知見を深め、また、事業者などからの事業に関する相談があった場合に協力できるような態勢を整えていきたいと考えます。
6	防災・安全	防災体制の強化	92		社会安全課 (危機管理室)	国土強靱化地域計画の推進	今後想定される巨大地震や豪雨等の大規模自然災害が発生した場合に備え、地域や社会システム等の脆弱性を検討した上で、最悪の事態を回避するための取組の方向性や内容を取りまとめ、災害に強く安心して暮らすことができる地域づくりを目指します。	反映する	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の電源確保は重要な取組と考えます。『国土強靱化地域計画』で示される様々な取組に反映させたいと考えています。 	

No.	基本目標	基本施策	施策	原案ページ	意見	担当課 (回答課)	関連計画事業名	事業内容	回答	回答詳細 (反映後の事業内容、実施中の取組、反映しない理由)
10	3	産業・経済	商工業の振興	64 66	<p>・館山市はコワーキングスペースが少ないように感じます。学生の学習、社会人の方のテレワークオフィスの出来る場所があると地域のコミュニティの形成や企業誘致活動等しやすいのではないかと感じます。</p> <p>・南房総市ではみんなみの里、シラハマ校舎のようなオシャレなデザインのリノベーション施設が多く作られています。大学と企業(MUJI)とのコラボにより実現しています。</p> <p>・館山市では公共のリノベーションオフィスの建設等の計画などはあるのでしょうか？また、テレワーク企業誘致活動などは行われているのでしょうか？(zozo?)</p>	雇用商工課	<p>リノベーションまちづくり事業</p> <p>企業誘致推進事業</p>	<p>まちの建物や空間の新しい使い方と創業希望者などの担い手とをマッチングさせるためのリノベーションスクールを開催することにより、館山駅周辺地域等の空き店舗や未利用地の有効活用を図ります。また、リノベーションスクールの受講生等が事業展開しやすくなるような環境整備を推進します。</p> <p>企業誘致を推進するため、企業訪問や市内企業の情報収集、市内進出希望の企業へのフォローアップを行うとともに、事業者に対して支援します。</p>	実施中・検討中(計画への記載なし)	<p>・公共のリノベーションオフィスの建設等の計画は現時点ではありませんが、現在、館山市内においてコワーキングスペースやサテライトオフィスとして活用できそうな民間施設について、事業者と協議しています。あわせて、企業合宿の誘致やワーケーション体験イベントを実施します。</p> <p>・大学や企業とのコラボレーションについては、様々な機会を通じ情報収集や情報交換を行い、連携に向け検討していきます。</p>
11	3	産業・経済	商工業の振興	63	<p>・ふるさと納税でブランド化を目指す野菜やフルーツが返礼品ランキングが上位であってほしい。全国ふるさと納税ランキングで静岡県のみちごが4位にランクインしている。びわのみならず館山市で有名ないちご、イチジク、レタスなどのブランドフルーツ、ブランド野菜が目されるような返礼品となって欲しい。</p>	企画課	ふるさと納税(ふるさと寄附金)制度の推進	<p>ふるさと納税制度を活用し、寄附者に対して館山市の地場産品やサービスなどの返礼品を通して市の魅力を発信することにより、さらなる寄附者の増加を目指すとともに、地場産業の振興を図ります。</p>	反映済	<p>・現在、館山市では多様な野菜やフルーツをふるさと納税返礼品として登録しています。ただし、天候等に左右されやすく、多くの数量を提供できていないのが現実です。館山市の特長としては、びわ以外にも、マンゴーやイチジク、梨、パッションフルーツ、神戸レタスなど、多くの魅力あるフルーツや野菜があることです。「食のブランド化の推進」事業の担当課である観光みなと課や農水産課と連携し、事業者や生産者と協力しながら、魅力的な地場産品のさらなるブラッシュアップを推進します。</p>
12		全般			<p>・フェアトレードタウン、SDGs未来都市、気候変動非常事態宣言都市を目指してください。応援しています！</p>	<p>企画課 社会安全課 雇用商工課</p>	<p>持続可能で倫理的な消費の普及・啓発</p>	<p>SDGsの12番目の目標である「つくる責任つかう責任」の実現に向け、フェアトレード商品の購入や地産地消など、人や社会、環境などに配慮した消費行動を促進するため、消費者・事業者・行政が連携して、市民への倫理的な消費(エシカル消費)の普及・啓発を行います。</p>	<p>実施中・検討中(計画への記載なし)</p>	<p>●フェアトレードタウンについて</p> <p>・館山市内において、フェアトレードを推進する企業が中心となり、館山市の「フェアトレードタウン」認定に向けた署名活動が行われています。</p> <p>・認定には、行政のみならず、まちぐるみでの理解・取組の浸透が必要不可欠とされており、まずは、フェアトレードの趣旨や目的を多くの市民の方々に知ってもらうため、地域全体でのフェアトレード推進の普及・啓発を行っていきたく考えています。</p> <p>●SDGs未来都市について</p> <p>・「SDGs未来都市」は、SDGsの理念に沿った取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域が選定されています。</p> <p>・館山市においても、市議会がSDGsが取り上げられるなど、市民の皆様への関心も少しずつ高まっていることを感じていますが、市民アンケートの結果によると、約7割がまだ存在を知らないという状況にあります。</p> <p>・市では現在、内閣府の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に参画し、先進自治体の事例等、情報収集等を行うとともに、市広報での連載などを通じ、市民の皆様がSDGsをより身近に感じていただける機会の提供に努めています。</p> <p>・『後期基本計画』への記載は考えていませんが、「SDGs未来都市」については、今後の検討としていきたいと考えています。</p>
						環境課	地球温暖化対策事業	<p>公共施設への太陽光発電システム等の導入や住宅用省エネルギーシステム設置に対する支援により、新エネルギーシステムの普及・促進を図ります。また、市が率先して地球温暖化対策に取り組むことにより、市民・事業者の自主的な活動を促進します。</p>	実施中・検討中(計画への記載なし)	<p>・気候非常事態宣言やゼロカーボンシティ宣言など、二酸化炭素排出の抑制に向けた取組を市民の皆様とともに推進していくことは大変重要であると考えます。まず、先進事例などの調査を行い、館山市の状況に合った効果的な取組を検討していきたいと考えています。</p>